

ILSI Japan 活動報告 < 5 >

【部会・分科会活動報告】 2007年5,6月度

食 品 安 全 研 究 会	食品安全調査研究部会	e-mail 情報の発信： 「厚生労働省 - 中国産植物性タンパクの取り扱いについて」 「中国産飼料のメラミン添加問題に関して」 「米国における照射インド産マンゴの輸入について」 「朝日新聞記事 『偽食品、中国深刻 キクラゲ・粉ミルク……』 について」 「農林水産省 加工食品中のアクリルアミド含有実態調査の結果 について」
	食品アレルギー研究部会	6/14 第2回例会：10名、次回9月予定 1時から3時 第一回翻訳グループミーティング（岩本様） 「イギリスの交差汚染ガイドライン」 3時から4時 合同ミーティング（鈴木） ・海外の食物アレルギーの現状 ・交差汚染アンケート討議 4時から5時 シンポジウム・グループミーティング（塚田様） ・テーマ：交差汚染 ・順天堂大学で10/3開催予定 ・演者予定：丸山先生（順天堂大学、基調講演）、伊藤様（三栄源、 アレルギー検査体制の紹介）、島根様（東北日本ハム、低アレルギー ン食品工場立ち上げまでの経緯）、石井様（味の素、イルシー翻訳 のイギリス、米国ガイドライン紹介）
	食品微生物研究部会	6月21日全体集会開催 ・TAB本メンテナンス：著者担当 ・リステリア調査研究：五十君先生等情報収集（情報発信は要注意） ・かび（毒）ハンドブック：全体構成試案作成（小西先生とご相談）
	食品リスク研究部会	第3回部会運営会議開催（6/7, 13:30-14:30）ILSI Japan 事務局会議室 議題：「食品の安全性評価のポイント」の出版について 最終版を完成し、ILSI Japan Report Series として出版する。監 修 林裕造先生。参考文献を添付して102ページとし、500部印 刷する。出来上がりは7月頭の予定。 第1回勉強会開催（6/7, 14:30-17:30）ILSI Japan 事務局会議室 テーマ：「遺伝毒性発がん性物質のリスク評価について」 講師：国立医薬品食品衛生研究所 広瀬明彦先生 参加者：リスク部会・香料部会より24名参加
	オフフレーバー分科会	活動なし
	バイオテクノロジー研究部会	5/28 5年間のナショナル・プロジェクト「遺伝子組換え生物の産業 利用に関するリスク管理委員会」のNEDO 評価委員会出席 6/27 環境影響試験タスクフォース開催（モンサント） 昨年の国際シンポジウムを受け、先生方の意見を踏まえて、2007 年のシンポジウムもしくは懇談会開催に向けて検討した。 4月の食品安全委員会との懇談会の内容が食品安全委員会のHPに 掲載された。 7月のIFBiC との国際電話会議の調整

	香料研究部会	TTC 翻訳の監修を依頼している広瀬先生から途中経過報告あり。リスク研究部会との合同勉強会（6/7）に当部会から 11 名参加。部会会合等の活動は無し。
	食品安全研究会全体	1. サテライトシンポジウム対応：（大妻女子大）池上先生訪問説明 5/10、（日健・栄協）林先生訪問説明 5/30（以上遠藤部会長と）、唐木先生に電話説明、（神戸大）金沢先生に説明確認、次回準備委員会の設定。 2. TTC 翻訳に関する窓口・進捗を ILSI Europe に連絡。 3. 上期部会長会議・全体会議設定。 4. 部会活動の HP 改定対応。 5. 情報委員会で出版計画申請書作成。
栄養健康研究会	栄養研究部会	組織委員会の意向を受け、第 5 回「栄養とエイジング」国際会議のプログラムを完成。2nd サーキュラーを送付。当日に向けた最終調整を実施中。
	肥満タスクフォース	「日本人の肥満の現状」の出版に向けて監修を数名の先生に依頼することで検討中。夏頃までに Finalize し出版を目指すべく進行中。
	炭水化物研究部会	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
	GR プロジェクト	GR 測定法プロトタイプの改良を進めると同時に、さまざまな食品、食事を測定対象として GR 測定を行い、プロトタイプが食品全般に使えるものかの検討を行う。GR 測定に必要な標準食品・食事の検討を、食総研と昭和女子大で開始した。
	果糖分科会	6 月 12 日に果糖分科会実施：各分科会メンバーに担当分の文献のまとめと一覧表の作成を依頼した。また果糖の総説についての担当者を割り当てた。
	ダイエット分科会	5 および 6 月は分科会の開催はなし。4 月に引き続き Glycemic index（GI）と満腹感についての文献調査を実施中。
	茶類研究部会	6 月 28 日茶部会開催。11 月開催の ICOS（国際茶学術会議）への取り組みにつき詳細を協議した。
	日本の食生活と肥満研究部会	5～6 月は全員参加の部会は開催せず、分科会として活動した。
	発酵製品の多様性分科会	「食の満足感」に着目し、食事の量と肥満との関連について調査中。
	脂質の種類分科会	「脂質悪者説」の歴史的な調査、並びに脂質摂取量と運動量との関連について調査中。
	食事の量分科会	食事摂取量調査（インターマップ・スタディー）情報の活用に向け、研究者派遣の具現化進行中。
	食品機能性研究会	世話人会を開催(6/13)。7 月に東大阿部先生、北里大佐藤先生と個別にお会いし、今後の活動についてご相談することを決めた。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	テイクテン (TAKE10!) 6/13~19 墨田区食育パネル展「すみだテイクテン」ポスター出展 「すみだテイクテン」フォローアップ教室 7 月開講準備。 リズムテン (LiSM10!) 6/18~20 介入プログラム参加者説明会 6/22,6/27 カウンセラー研修会
	Project SWAN	タンヒエップ村：6/7 水管理組合の 1 年後評価。

(Safe Water and Nutrition)	ダイモ村：5/16 水処理施設運営のモニタリング。5/24 第 1 回ワークショップ実施。6/20 栄養・食品衛生調査プレテストの実施。 クワンチュン村：5/18 母親を対象に子供の栄養に関する FGD。 6/15,16,17：食品摂取調査プレテスト実施。6/28,29 面接員のトレーニング実施。6/30：追加調査実施。
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	5～6月 カンボジア魚醤保存試験実施。
国際協力委員会	ILSI 本部紹介のためハリス事務局長が寄稿した記事を和訳し、イルシー誌に投稿。
情報委員会	委員会開催 1 回 (6 月)。ILSI Japan からの出版物を事前届出制にしたことで、情報委員会に届け出てもらった「出版計画書」の様式を決定。ILSI Japan 英文ニュースレター発行の準備作業を始めることに決定<2008 年 1 月創刊予定>。ホームページ更新、ホームページ英文版の検討を始める。「第 5 回栄養とエイジング国際会議」要旨集の発刊日を 10 月 10 日に決定。
編集部会	

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

運営委員会	特になし
執行委員会	<p>平成 19 年度第 3 回執行委員会が 5 月 22 日に開催され、下記の事項が審議された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第 5 回「栄養とエイジング」国際会議特別会費の進捗状況 本機構をあげてこの会議を成功させるため、当委員会も一致協力してお願いすることになった¥70,000 の特別会費の進捗状況が報告された。 前回の執行委員会の事項についての進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> コロラド大の Dr. James Hill に ILSI での講演を依頼する提案があったが、Hill 氏の Schedule の都合が悪く中止になった。 「お茶の水女子大学公開講座」については特に進展がない。 北里大学の交流に関しては 5 月末に先方の意向を聞く事になった。 「ILSI Japan から産業界への提案 “健康、栄養と環境に資する企業連絡会” の素案」 健康、栄養、環境に関わる Project を支援し、CSR を意識した企業連絡会の結成の呼びかけであるが、支援の対象を ILSI Japan の財政基盤の強化にしぼり、手始めに現在 ILSI Japan CHP の支援を頂いている法人の意見を聞くことになった。 新本部長 Mr. John Ruff との会合 Mr. John Ruff の新会長として各支部を訪問したいとの意向を受けて、日本では 10 月 31 日から開催される第 5 回「栄養とエイジ

	<p>ング」国際会議に先駆けて10月30日にILSI Japanの評議員、研究部会員、理事を対象にした会合が提案され、Mr. J. Ruff にスケジュールを確認することになった。</p>
理事会	<p>平成19年度第2回理事会が6月7日に開催され、下記の事項が議論された。</p> <p>1. 「ILSI 本部の新会長 Mr. John Ruff との会合」 本年度の1月の本部総会で Mr. John Ruff より各支部を訪問したいとの要望があり、日本としては、10月31日から開催される第5回「栄養とエイジング」国際会議に出席頂き、10月30日に Mr. J. Ruff との会合を持つことを提案し、スケジュールを確認することになった。</p> <p>2. 第5回「栄養とエイジング」国際会議 引続き、10月31日より開催される表記国際会議のプログラムについての説明があり、当初ポスターセッションに合わせて、栄養補助食品や、生活習慣病予防の観点から開発された機能性食品、および関連素材等の展示を予定していたが、厚生労働省より特定の企業に対する後援はできないとの連絡が入ったので、栄養部会で検討の結果、展示はしないことになった旨が報告され、続いてその他のプログラムの内容が説明された。</p> <p>3. 食品安全・機能性評価研究センター構想 食品安全・機能評価研究センター構想(案)に関し、大学医学部よりこの構想の目的、組織、事業内容について説明があったことが報告されたが、ILSI Japan に何を求めているのかは分からないので、次回の会合で確認することになった。</p>
事務局	特になし